

# トルコ共和国

Republic of Turkey



「文明の発祥地」「親日家」と言われるトルコ。新石器時代の紀元前 6,500 年にチャタルヒュユックに最初の集落が作られ、その時代から現在まで何十世紀にも渡ってトルコで栄えた華々しい文化は、現代文明にも影響を与えています。古代遺跡は国中に点在し、それぞれの文化の特長を示しています。1890 年のエルトゥールル号の訪日とその後の沈没事故は、両国友好の始まりとなっています。

Turkey, a cradle of civilization, a land of Japanophiles! The earliest known village was founded around 6,500 BCE, during the early Neolithic period, at Çatal Hüyük. Through all the centuries from that early time to the present, Turkey has been a land of vibrant and brilliant culture, and a continuing influence on our own modern civilization. The country abounds in ancient ruins that speak of the myriad cultures which have flourished there. The 1890 visit of the Turkish warship Ertuğrul Firkateyni to Japan, followed by Japan's prompt aid to the survivors of its tragic sinking off Japan's coast during a typhoon, was the start of the warm ties between the two countries.



市村宏文 (Hirofumi Ichimura)



ボスボラス海峡 Bosphorus (イスタンブール Istanbul)



1000 年に及ぶ遊牧生活の頃の天幕 (写真は復元したものでカフェとして使用)



自己完結型民家

## 移動から定住へ

### 住宅形式の変貌

- ◆遊牧生活: トルコ族がアナトリアに定住するまでに、中央アジアからヨーロッパに至る移動のために天幕で生活していたのが始まりとなる。その千年以上に渡る移動の歴史のあと、遊牧の生活を捨て定住する。
- ◆自己完結型民家: 都市計画の無いまま遊牧民の定住の結果、それぞれの住宅が自己完結性を持ち、隣地との関係を無視して建設された。
- ◆重層する建築: 無造作に他の時代の遺構の上に建物を継ぎ足すように、石造階に木造階が乗せられ、それは、ちょうど小高い丘の上に天幕を張るような自由な平面を持った上階が建築される。
- ◆構造体の建築: トルコで制定されている耐震基準は、日本の耐震基準と同程度である。しかし、その耐震基準の普及が図られておらず、今までの工法での建設がされている。郊外ニュータウンでは、多くはコンクリートの構造体で建設されている。

参考図書: トルコの民家 / 山本達也 (1991・丸善)



## 重層する建物



(上) 組石造の 1 階に積み重ねられた木造の 2・3 階  
(下) 1 階平面に全く関係無く建築された 2 階。3 階は工事中で止まったままとっている。

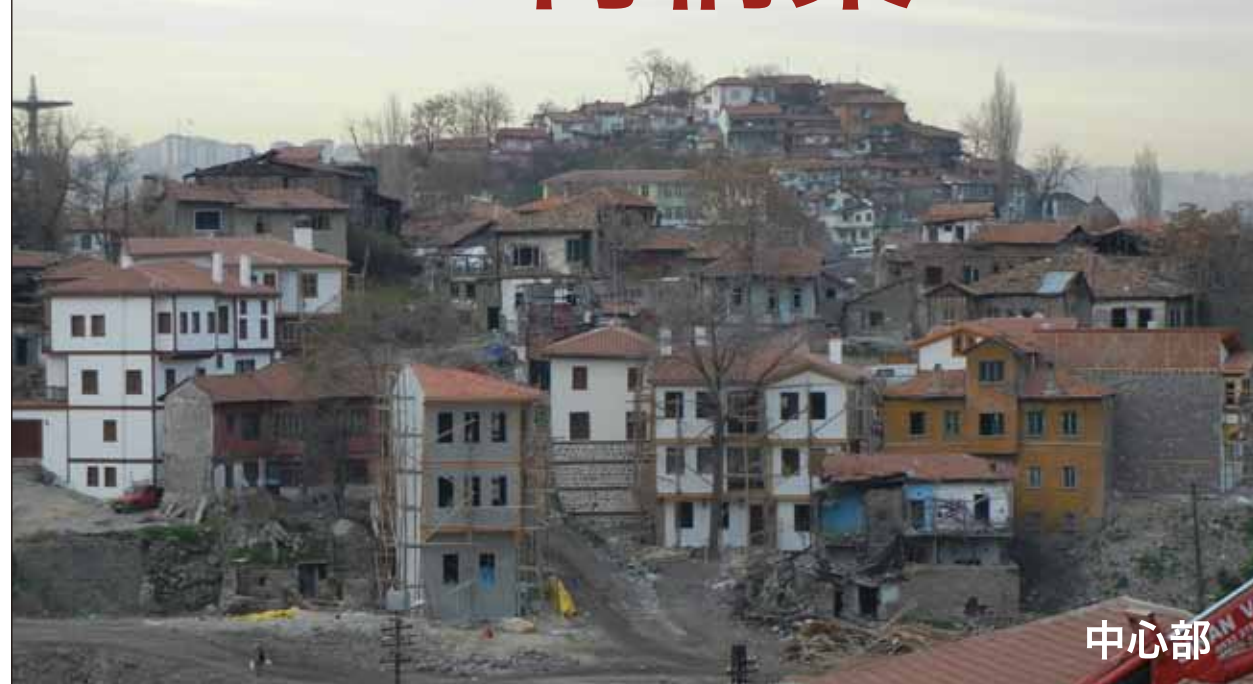


都市郊外のニュータウンに建設される戸建て住宅

## 構造体の建築へ

## 都市住居の再構築 (首都: アンカラ)

制作者: 市村宏文 / エルスト



中心部



近郊



郊外

## 戸建て住宅から集合住宅へ